

「テコカコテ」とは

カルタ形式のカードゲーム。読み手が質問カードを読み上げ、プレイヤーはその答えとなる道具の名前を大きな声で叫びながらカードを取る遊び。

- 対象年齢：6歳～大人
- プレイ人数：3～6人用
- プレイ時間：約10分

内容物 カード57枚／説明書／道具辞典

テコカコテ

遊び方ガイド

カードの種類

基本のカルタ遊びはこの2種類で



26枚

質問カード (読み札)

道具に関する質問と、2つ道具の名前が書かれているカード。(1つは正解の名前。もう1つは違う道具の名前)
(例)「大根を粗くおろす道具は、鬼すだれか鬼おろし?」と読み上げる。



正解の道具の名前が書かれている

26枚

道具カード (絵札)

正解の道具の名前とイラストが描かれているカード。取るときは、必ず道具の名前を叫んで取る。
(例)「鬼おろし!」と叫びながら取る。

基本のカードにプラスして、ゲームをレベルアップ!



ぎゃくてん
逆転の
チャンス!

2枚

横取りカード

このカードが出たら、一番早く「テコカコテ!」と叫んだプレイヤーが、誰からでも、集めたカードを横取りできる。(横取りは最大3枚までで、1人から取っても2人以上から取ってもOK)



ルールが
チェンジ!
ついて来られる
かな?

3枚

テコ返しカード

このカードが出たら、ルールが逆転! 質問カードに対して「不正解の名前」が正解になる。次にテコ返しカードが出るまで続く。

3つの遊び方 詳しくは2ページと3ページでご紹介

読み手が1人のシンプルなルール。

① 基本のカルタ

チャンスカードを混ぜて、レベルアップ!

② 応用のカルタ

ちょっと一息、ババ抜きもできるよ。

〈おまけ〉トランプ遊び

テコカコテの遊び方 ①

① 基本のカルタ (3~6人)

カルタと同じく読み手は参加者の1人が担当して質問カードを読み上げる。それ以外の参加者がプレーヤーとなってカードを取り合うシンプルなルール。



ゲームの準備

- すべての道具カード(絵札)を、道具が描かれた面を上にして重ならないように並べる。
- 質問を読む「読み手」を1人決める。



ゲームスタート

- 1 読み手の人が質問を読む。

大根を粗くおろす道具は？
『鬼すだれ』か『鬼おろし』？



カードが取れても不正解の名前を叫んでいたならお手つき

- 2 プレーヤーは並べられたカードの中から、正解だと思う方の道具を探そう。そして名前を叫びながら、道具カードを取る。



カードが取れても、正解の名前を叫び忘れたら、お手つき

お手つきの場合、質問カードを山札に戻してシャッフルし、道具カードも置き直す。間違えたプレーヤーは、お手つきとして、1回休みになる。

- 3 並べられた道具カードがすべてなくなったら、ゲーム終了。集めたカードの枚数が、一番多い人が勝ち！

<おまけ>トランプ遊び (2人~)

質問カードと道具カードには、トランプのマークと数字が描かれているのでトランプゲームとしても楽しめる。横取りカード(2枚)をジョーカーとして使う。



ゲームを 楽しんだあとは…

付録のミニサイズの「道具辞典」で解説を読んでみよう。テコカコテに登場する計51種類の道具の使い方や名前の由来、歴史が載っているよ。



テコカコテの遊び方 ②

② 応用のカルタ (3~6人)

応用編ではチャンスカードを加える。
読み手は、交代しながら全員で順番に回す。

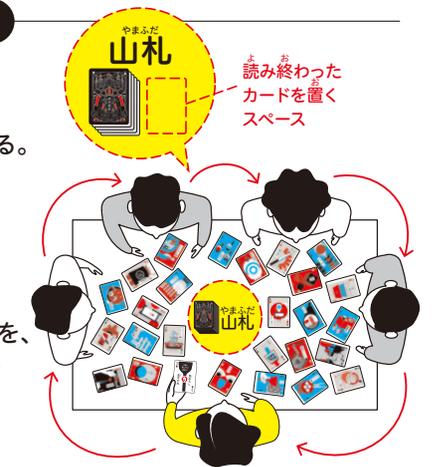


2種類のチャンスカード

人数やレベルに合わせて増やしても、減らしてもOK

ゲームの準備

- 質問カードとチャンスカードを混ぜてシャッフルする。それを山札として裏向きにした状態で真ん中に置く。
- 山札のまわりに、すべての道具カードを、道具が描かれた面を上にして重ならないように並べる。
- 質問カードを、読み手は順番に交代。質問の読み手になったら、読む順番を決める。



読み手は順番に交代。質問の読み手になったら、カードを取ることができない

ゲームスタート

1

読み手は山札からカードを1枚めくり、質問カードの質問を読む。読み終わったら、山札のとなりに質問が見えるようにしてカードを置く。

質問を読み終わってから、みんなに見えるようにして置く

最初にチャンスカードが出た場合はカードを戻し、山札をシャッフルしてやり直し。

2

プレイヤーは質問の正解となる道具カードを探し、その道具の名前を呼びながら取る。(基本のカルタと同じ) そして読み手を次のプレイヤーへ交代する。

お手つきの場合、質問カードを山札に戻してシャッフルし、道具カードも置き直す。間違えたプレイヤーは、お手つきとして、1回休みになる。

3

チャンスカードが出たら逆転のチャンス！
(横取りカード)が出たら、一番早く「テコカコテ！」と叫んだプレイヤーが、誰からでも、集めたカードを横取りすることができる。(横取りは最大3枚までで、1人から取っても2人以上から取ってもOK)



〈テコ返しカード〉が出たら、ルールが逆転！
質問カードに対して「不正解の道具」が正解になる。次にテコ返しカードが出るまで続く。

4

並べられた道具カードがすべてなくなったら、ゲーム終了。集めたカードの枚数が、一番多い人が勝ち！



読み手はチャンスカードのカード名を読み上げてから、みんなに見えるようにして置く

チャンスカードが出た場合、新たに山札をめくらず読み手を交代する。